

第1回 小田滋賞選考経過および表彰式の開催

去る6月29日(日)午後3時30分から、アルカディア市ヶ谷7階雲取の間において、第1回小田滋賞表彰式が開催されました。

小田滋賞は、1976年2月から2003年2月まで3期27年にわたり国際司法裁判所裁判官を務められた小田滋先生の篤志に基づいて、国際法、国際私法、国際政治・外交史の分野における研究を普及し、とくに将来を担う若手研究者の育成を促進するために、同分野に関する優秀な論文を顕彰するものです。第1回の募集には、17編の応募があり、その内訳は、国際法12編、国際私法1編、国際政治・外交史4編でした。また、応募者には、6名の学部生が含まれていました。



応募論文の審査は、予備審査委員会による第1次審査と選考委員会による選考の2段階に分けられ、予備審査は当分の間国際関係法教育委員会が行うことになりました。予備審査の結果、国際法5編、国際私法1編、国際政治・外交史2編の合計8編が最終選考論文と決定されました。最終選考は、代表理事が選

任した、村瀬信也教授、櫻田嘉章教授、山本吉宣教授の3会員に委嘱され、厳正な審査を行っていただきました。選考結果に基づき、5月16日に開催された第10回理事会において、次の通り、受賞者が決定されました(詳細は、受賞者一覧を参照)。

最優秀賞 和光 真理江氏(東京大学大学院 法学政治学研究科): 国際法

優秀賞 邵 洪範氏(東京大学大学院 法学政治学研究科): 国際法

奨励賞 山野 翔太氏(東京大学大学院 総合文化研究科): 国際法

中村 知里氏(京都大学大学院 法学研究科): 国際私法

志田 淳二郎氏(中央大学大学院 法学研究科): 国際政治・外交史

また、理事会において、最終選考論文とされた次の2名の学部生に対して、特別賞を授与することが決定されました。

特別賞 阿部 紀恵氏(北海道大学 法学部)

安田 貴雅氏(京都大学 法学部)

表彰式は、受賞者全員（特別賞受賞者を除く）と選考委員の村瀬教授、山本教授および理事、監事が出席して開催されました。開式の辞の後、薬師寺公夫代表理事から、小田滋賞の趣旨が説明され、小田滋先生からの次のようなメッセージが披露されました。

「私自身は 90 歳で高齢でこの場に出席することができませんが、この度は、私のささやかな寄付で設立されました小田滋賞をみなさまがたが受賞されたことを知り、大変うれしく存じます。自分から申すのはおかしいですが、心からお喜び申し上げます。今後の一層の精進によって国際法学界に貢献されることを祈っております。」

続いて、受賞者に表彰状と副賞の目録が薬師寺代表理事から授与され、選考委員の村瀬教授、山本教授から受賞論文に対する講評をいただきました。引き続き、最優秀賞を受賞した和光真理江さんから、受賞者を代表して、受賞の挨拶と今後の抱負を述べていただきました。初めての式典でしたが、国際法学会に新風を吹き込む、心温まる表彰式でした。

国際関係法教育委員会
委員長 佐野 寛

